

「女性会員の会」第11回報告

The women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

早稲田大学における第121回秋期大会期間中の11月12日12:00~15:00、女性会員を中心とした緩やかなネットワーク、第11回女性会員の会を開催しました。合わせて第2回学会託児室を11月12日8:30~懇親会終了時まで、11月13日8:30~16:30まで試行しました。

【恒例の自己紹介：①氏名②所属・仕事内容③今気になること】 第11回女性会員の会出席者は、女性会員22名（企業17、大学4、学生1）、男性応援会員5名（企業3、大学2）計27名でした。この会を毎回楽しみにしている会員、初参加で緊張している方々、たくさんの写真を撮って下さる応援会員の方々、それぞれ都合のつく順に集まりお弁当とお菓子を食べながら親しく歓談しました。回を追うごとに参加者が増えて、笑いながら仲間の近況・様子を聞く至福の時を共有しました。（写真1、写真2）

「女性会員の会」効果でしょうか！最近、学会発表する女性が増えています。今後の課題として、女子学生たちへ伝える確かな連絡方法を考える必要があります。

【話題提供：渡辺睦子さん（古河スカイ株式会社）】

第3回軽金属女性未来賞受賞者、渡辺睦子さんに、会社紹介、入社後の個人的経験と配置換えとの関係、仕事の内容と充実感等について、穏やかな口調でご紹介いただきました。多くの女性経験者が、配置換えに悩みながらも頑張っていることや、女性技術者・研究者採用の前例がなく、制服をどうしたらよいか、苦勞された上司たちの対応に、同様の経験を持つ参加者から、たくさんの楽しい(?)感想を聞くことができました。仕事を続けられた主因として、研究・技術の仕事特有の達成感が得られることとの意見には、多くの共感が寄せられました。人生に沿う様々な経験と職場との関係が、個人の問題でなく、女性共通であることが明らかになり、お互いに共感し合い・励まし合い、さらに親交が深まるのを感じ

ました。（写真3）

【第2回学会託児室設置試行】

大会期間中、満2か月以上小学生以下の子供を対象として、事前申込み制・完全予約制で学会託児室を試行しました。大会実行委員長、副委員長の紹介で、早稲田大学、男女共同参画推進室、ワークライフバランス・サポートセンター内に託児室を設置し、シッター業務を(株)ファミリー・サポート社に依頼しました。今回の延べ利用者数は1回目と同数の5名でした。懇親会時間帯の託児室利用を、初めて募集しました。「独身時代以来、久しぶりに学会懇親会を楽しむことができて満足です」と、利用者に大好評でした。ベビーベッド付、一部が畳敷きの優れた環境に設置した学会託児室内の様子を、写真4で紹介します。地震など緊急時の避難経路図、最寄り駅下車後のバリアフリー・ルート確認、利用料金支払方法の簡素化等、試行で得られた貴重な経験を元に、準備作業の見える化、わかりやすいマニュアル作り等「誰にでもできる学会託児室設置」の準備を進めています。

「女性会員の会」は、講演大会中の忙しい時間をぬって女性会員が一堂に会する、1年にたった2回！の貴重な会合です。これからも女性会員の皆様と、本会を暖かく見守ってくださる応援委員の方々のご参加をお待ち致します。

最後に、実行委員長 日産自動車 神戸洋史氏、副委員長 吉田 誠先生始め、大会実行委員の皆様のご配慮と、休日に出勤くださった男女共同参画推進室の職員の方々に深く感謝いたします。

（世話人：関 史江，鳥居麗子，齊藤由佳）



写真1 第11回女性会員の会 集合写真



写真2 第11回女性会員の会 会場風景



写真3 第11回女性会員の会 話題提供



写真4 第2回学会託児室 於早稲田大学